



The Hitoyoshi Rotary

人 吉

通 算 2792回
2014年4月11日
第 36 回 例 会
毎 週 金 曜 日

ロータリーを实践し
みんなに豊かな人生を

Engage Rotary, Change Lives

2013 - 2014年度 R I 会長
ロン D. バートン

会報編集 石蔵尚之委員

人吉市九日町30・清流山水花 あゆの里 ☎@2171 ◀ 例会場 事務局 ▶ 清流山水花 あゆの里内 ☎@6665 ☎@6505

[URL] <http://www12.ocn.ne.jp/~hrc/> [E-mail] hitoyoshi-rc@mocha.ocn.ne.jp

クラブ活動記録 [URL] <http://hrcwatanabe.jimdo.com/>

4 月 雑 誌 月 間

点 鐘 渡辺洋文会長
歌 唱 ヲグリーガー 下田文仁委員
国 歌 「君が代」
R S 「奉仕の理想」
司会・進行 葉山プログラ副委員長
来訪者紹介 渡辺洋文会長
人吉中央RC
地区大会実行委員長 中尾 弘様

会長の時間

会長 渡辺洋文

4月5日(土)、JNC(株)水俣製造所 研修センターにおいて熊本第6分区IMが開催されました。人吉ロータリーからは5名で参加して参りました。JNCの沿革の紹介の後、バスにて、東京ディズニーランドとほぼ同じ面積の工場内を説明いただきました。チッソと言う会社名は知ってましたし、水俣病の関連からいいイメージではなかったのですが、液晶の世界シェアの40%を水俣で生産していると聞いて、ちょっとびっくりしました。

原田先生のFB3360地区チェンライRC会長様で、人吉ロータリーが支援した、アカ族子供寮「夢の家」施設改修支援についての投稿がありましたので、ご紹介したいと思います。

『アカ族子供寮の「食堂新築&渡り廊下増築」工事の着工、アカ族子供寮「夢の家」に、私の悲願だった新築&増築工事のメドが立った。昨日のチェンライロータリークラブに「夢の家」管理人・アリヤさんと呼んだ。言うまでもない。その建築資金として100万円(タイ相場で500万円相当)を超える高額奉仕金を手渡すためだ。この資金は、私が帰国し西に大阪「堺フェニックスロータリークラブ」例会で卓話をし「食堂新築」を懇願して実現した。また南に熊本「人吉ロータリークラブ」例会で卓話をし「渡り廊下増築」を懇願

して実現した。これで室内40℃のスレート拭きの食堂は瓦屋根の扇風機付きに变身する。36℃に下がる。また敷地内配置の施設移動が雨に濡れずに可能になる。私の「識字向上支援」の一丁目一番地は「就学環境の整備」だと訴えている。両クラブの皆さんにご理解を頂けたことは嬉しい。子供たちは今タイのお正月と夏休みで帰省中だ。新学期の5月中には寮に戻る。子供たちに素晴らしいプレゼントを用意できた。また過日横浜で開催された「輝く瞳に会いに行こう」全国大会で、有志から預かった奉仕金・8万円が食堂什器購入に充てられる。支援頂いた両クラブと「輝く瞳に・・・」参集ご奉仕頂いた皆さんに子供たちの「喜びの笑顔のプレゼント」をいずれお届けすることをお約束する。』

原田先生より、5月末、人吉ロータリークラブの「夢の家」訪問に合わせて、施設の完成式を行いたいというメールが届いておりますので、5月の最終週、25日から31日の間で、アカ族子供寮「夢の家」の訪問を計画したいと思いますので、行ってもいいと思われる方は、是非ご参加下さい。

インドでポリオ根絶、WHOが公式宣言へと言う(CNN)の記事が有りましたのでご紹介したいと思います。

世界保健機関(WHO)は3月27日、インドと東南アジアからのポリオ根絶を公式に宣言する。インドでは3年前にポリオと診断された少女を最後に、新たな症例は確認されていない。CNNはポリオ根絶の象徴的存在となった少女を取材した。

インドの西ベンガル州に住むルクサール・カートゥーンちゃん(4つ)は、生後1年6カ月だった2011年、右足が腫れるなどの症状が出て、検査の結果、ポリオと診断された。両親は、もともと病弱で入院を繰り返していたルクサールちゃんにそれ以上の薬物などを投与しない方がいいと考えて、ポリオのワクチン投与を受けさせなかった。今でもそのことを悔やんでいるという。

インドが困難を克服してポリオ根絶に成功した今、ルクサールちゃんはその象徴的な存在として

新聞やテレビに出演し、根絶プロジェクトを主導してきた団体「国際ロータリー」のイベントに招かれるなどしてすっかり有名人になった。

ポリオは関節や筋肉を動かす脳や脊髄（せきずい）の細胞にウイルスが入り込み、身体にまひ症状が出る疾患。インドのポリオ患者は約3分の1にまひが残り、同国の身体障害者2,100万人のうち半数はポリオに起因する。インドのポリオ根絶はわずか数年前まで不可能と思われてきた。世界では1988年から根絶を目指すプロジェクトがスタートしたが、この時点でインドでは、年間20万人以上の子どもがポリオを発症。人口が増大し、貧困層が数百万人を占める同国では不衛生な地域も多く、2009年になっても感染者は741人に上り、世界の1,604人の半数近くを占めていた。

そうした現状の中、国際ロータリーのキャンペーンでは毎年1億7,000万人の子どもにワクチンを投与し、そのための医療関係者200万人を確保。政府からは23億ドルを拠出させた。

まだ電気が通っていない地域も多く、電気があっても頻繁な停電に見舞われることから、ワクチンを低温に保つための冷蔵施設の確保も大きな課題だった。灯油を燃料に使った冷蔵庫の導入や、偏見解消のための啓発キャンペーンなどを通じてこうした課題を1つひとつ克服してきたという。

インドの根絶宣言により、現在でもポリオが残る国はアフガニスタンとパキスタン、ナイジェリアの3カ国のみ、地域では地中海東部沿岸部とアフリカのみとなった。

ルクサールちゃんは治療を受けて歩いたり走ったりできるようになった。右足は左足よりもやや短く、痛みを訴えることもあるが、ほかの子もたちとほとんど変わらないように見える。父親は娘の将来を心配しながら、今後も必要な医療や教育が受けられるよう、少ない収入の中から蓄えに務めている。』

ポリオプラスは、RIのメインの事業でもありますし、我々ロータリアンのお金で運営されているわけですから、現在の状況がどうなっているのかと言う事を、より理解を深め、周りの人々に伝えていく義務が有るのでは無いですか？ロータリーの知名度が低いと嘆く前に、我々一人一人が出来ることを、実行して行くべきではないでしょうか。

幹事報告

幹事 井手富浩

【第3回臨時理事会承認事項】

- ①新入会員候補者 大野啓介氏（交代会員）
入会承認の件 ロータリー情報委員会へ
（入会式 4/18予定）
- ②2013年規定審議会決定事項に伴う定款変更の件
（1）ロータリー情報委員会（4/23開催）より提出された定款変更案を全会員へ配布閲覧を行い、5/9に臨時総会を開催し決議する。

- (2) 同上変更定款を 5/15(締切)までにガバナー事務局へ提出する。

【連絡事項】

- ①日本百名城 人吉お城まつり 実行委員会より「日本百名城 人吉お城まつり」協賛金の御願いが届いております。特別会計に¥50,000計上しておりますので、支出します。
- ②RI 2720地区ガバナー事務所より、2014年 - 15年度地区資金予算が、先日の地区研修協議会にて一部修正され、承認されました。修正箇所は、ブライダル少子化対策委員会予算が60万円→70万円に値上げされました。

【例会変更・取止め】

- 宇土RC4/23→地区研修協議会振替の為、休会
〃 5/7→19:00～年祝い例会の為
場所「おとずれ」に変更
- ②熊本中央RC5/2→クラブ定款に基づく取止め

【来訪者挨拶】



人吉中央RC
中尾弘地区大会実行委員長
地区大会協力に対するお礼のご挨拶をいただきました。

《 寄付の申し出 》



安達玄一会員より、
“長男の結婚を記念して”
ロータリー財団、米山記念奨学会へご寄付がありました。

出席率報告

委員長 戸高克彦

本日の出席率			
会 員 数	63名	77.97%	
出 席 免 除	4名	3/28出席率	83.33%
欠 席 者 数	13名	補 填 数	8名
出 席 者 数	46名	修正出席率	100%

- *届け出欠席 丸尾・水野・宮山・有村・村山・中川・馬場
山田・小林清・山口・平田・尾方・尾上
- *出席免除会員 (b) 増田, 愛甲, 山本
- *メイクアップ
地区大会；丸尾・増田・宮原・水野・村山・永尾・中川・中村

会務報告

【職業奉仕委員会】

委員長 岩井和彦

優良職員表彰について、先週推薦のお願いを致しましたが、現在6名いただいております。推薦を予定されておられる方は、4月末までに事務局へ提出下さいますようお願い申し上げます。
それから、職業奉仕委員会では4月25日(金)に職場訪問例会を行います。訪問先は人吉総合病院、現在は「独立行政法人地域医療機能推進機構

人吉医療センター」と名称変更されました。案内をFAXでお送りします。準備のため出欠も確認いたしますのでご返信をお願いします。

【雑誌委員会】

ロータリーの友4月号の紹介

紹介者 石蔵尚之会員



今月は「雑誌月間」となり、本誌もさまざま特集が組まれておりますので、そのあたりを重点的にご紹介申し上げたいと思います。まず、横組みから。

冒頭のR I 会長メッセージでは「義務だと感じるからではなく、良い雑誌だから読むのです」とあります。ロータリーの知識を得て、経験を分かち合い、誇りを持って奉仕を実践していくための参考書として改めて読み込んでいこうと感じました。8頁から世界各地の雑誌の表紙が紹介されています。表紙は雑誌の顔。ひと目でお国柄を感じることができる面白さがあります。続いて、10頁からはロータリアンの特別寄稿となっており「血となり肉となっている」「知識の宝庫」「読めば読むほど楽しくなる」など、雑誌がどれほどロータリー活動に役立っているかを語っておられます。

さて13頁は、ロータリーの友の電子版の紹介です。14、15頁はR I の雑誌セミナーが紹介されており、ここでも電子版の活用が取り上げられています。ことし1月にスタートした電子版へのアクセスはまだ少ないようですが、規定審議会で雑誌の印刷版と電子版の選択が可能になった（電子版を発行しなくてはならない）とのことでした。

現在2720地区におきましても、IT推進、それに伴うガバナー月信の電子化などが進められています。紙には紙の、デジタルにはデジタルの良さがありますので天秤にかけることはできませんが、お手元のロータリーの友は実にコンパクトで、写真や見出し、カットにいたるまで「見せる」「読ませる」といった工夫が随所に施されています。これが紙媒体の売りではないでしょうか。

もちろん、デジタル化されてもパソコンやスマートフォンでPDFのように印刷物の体裁のまま読むことも、または本をめくるように読むことは可能です。ただ、制作費削減のためさらにデジタル化を進めた（手軽に早く）場合、例えば、大手検索サイトのニュースのように何の変哲もない見出しの羅列となれば、書き手が最も伝えたいものは何か、つまり読み手は積極的に情報を探さなくてはならない…ということになりかねません。「これが今月の特集です」「大きな話題はこれですよ」と、工夫されたレイアウトはわかりやすく、楽しみのひとつではないでしょうか。

見出しも同じです。ネットニュースの見出しは1段で13～15字におさめられています。その限られた文字数でどれだけ読み手に興味を持ってもら

うか、問われる時代になりそうです。そこで、縦組13頁からの友愛の広場を見てみます。「『友』で友になる」は関心を引きまします。その他の方々の見出しも面白いのですが、例えば「雑誌月間にちなんで」は「発表する喜び」、「漢民族について」は「私の先祖は漢民族?」、「ゆずり葉の会と仲間たち」は「ゆずり葉の会 絆いつまでも」といった具合。内容に忠実であることは正しいのですが、これからのデジタル時代にはスポーツ紙のように少々大げさに見出しを工夫することも必要でしょう。こうして自分なりの見出しを考えながら読み進んでいくと、また違った楽しみで「ロータリーの友」と付き合えるのではないかと、とも思うところです。

次年度【地区研修・協議会報告】

ガバナー補佐・会長部会 報告

会長エレクト 鳥井正徳



- ・ガバナーエレクト、地区研修リーダー挨拶
- ・効果的なロータリークラブとなるための活動計画の指標の提出について
- ・ロータリーデーの推進について
- ・その他

○先般のPETSの研修を踏まえた上での部会でした。

○挨拶や説明の目立ったことを報告します。

1. 地域に何が出来るか、これまでの活動を見直しながら、今必要な奉仕活動を発掘する。
2. クラブ協議会を充実する。本来なら例会時でのクラブ協議会はあり得ない。
(時間・内容・方法を考える)
3. 卓話者の選定。卓話を楽しむにする例会を
考える。
4. 新入会員の歓迎プログラムを考える。
5. 「ロータリーの手引き」を常に読む。
6. 「ロータリーデー」の開催を
 - ・屋外でのピクニックやバーベキュー大会
 - ・スポーツ行事やコンサート
 - ・家族や友人が参加し易いイベント
 - ・地元のお祭りやイベントに併せた催し
 - ・チケット制のレセプションや夕食会

※ガバナー公式訪問 7月30日(水)

各委員会の計画、定款変更に伴う細則の変更
(急ぐ)

広報・IT部門報告

次期IT推進担当者 石蔵尚之

大ホールにおいて、会員増強・拡大部門(有村隆徳委員長)との合同研修となりました。地区会員増強・拡大部門の我が中川貴夫部門長に続き、広報・IT委員会部門の片山勇部門長(大分臨海クラブ)からお話がありました。

まず、一般に対するロータリーの認知度が依然低く、それが会員数の減少の要因のひとつとなっ

ていることから、今後は動画などのコマーシャルを活用して外部広報強化に乗り出すといったお話がありました。これに伴い、内部情報についても積極的にデジタル化を進め、すでに「ロータリーの友」の電子化が始まっていますが、ガバナー月信の電子化、フェイスブックを活用した会員同士の情報交換、スカイプのテレビ電話のような機能を使った「テレビ卓話」など、IT（情報通信技術）の可能性が紹介されました。

その他、クラブや会員のメリットは、手続要覧など資料が容易に無償で入手できる、デジタル化により保存された全てのデータの閲覧・引き出しが可能…。

反面、ガバナー月信のデジタル化について、出席者からは「これまで負担してきた月信費はどうなるのか？」といった質問が相次ぎました。これに対して「外部広報強化費」として活用したいとの説明がありました。クラブの負担はこのほか、例会場の無線LANなどの環境整備、紙媒体のニーズに応えるためのプリンターやインク、紙など消耗品の増加などが考えられます。今後の完全IT化に向けて「試練の1年になると思うが協力を」と呼び掛けられました。

管理運営部会 報告

次期クラブ運営委員長 延岡研一



はっきり言って、報告すべき内容はありません。部門長のお話は、次年度の話ではなく本年度5月15日までに行わなければいけない各クラブの定款変更の話でおしまい。クラブ役員キットの「クラブ管理運営委員会の手引き」を活用したクラブ奉仕に関する話は一切なし。後は、部門長の心に残るロータリー談義とアドバイザーのビルゲイツの大型寄付なんかの話で終始、なんだったのでしょうか。と思ったのは私だけではなかったはずです。以上です。

ではあんまりなので思うところを述べさせていただきます報告と致します。

クラブ管理運営には出席、親睦、SAA、プログラム、ニコニコの5委員会があります。五つの委員会は概ね例会においてその委員会の役割を果たします。そしてそれぞれの委員会が別々に機能するのではなく、綿密に連携する事により例会が楽しいものとなり、文字通りクラブの管理運営がスムーズにいくのです。

各委員会が独自に知恵を絞って取り組むことは当然大切です。その上で「出席率を高めるにはどんな例会プログラムがいいの」、「親睦を深めるために何をしようか」、「例会はやっぱり品位を保たないと」、「みんなにとって興味を引く卓話ってどんなの」、「こんな卓話プログラムならニコニコもばっちり」、などなど五つの委員会が意見を出し合ってより魅力的な例会でありロータリーにしていければいいでしょう。そしてそれはこの五つの委員会の連携のみでうまくいくもので

はありません。会員増強、奉仕プロジェクト、青少年、ロータリー財団の各委員会との連携が何より大切です。

極端な話ですが、例会に限らず色々な事業での出席率（参加率）はテレビにおける番組視聴率に置き換えられるのではないのでしょうか。どんな内容にすれば視聴率が上がるのか、プロデューサー（担当の委員長）の腕の見せ所です。しかしそれだけでは視聴率は上がりません。番組表を見てもらい、前宣伝も必要ではないのでしょうか。これは見逃さないで何とか遣り繰りして見ようってことになると思います。逆では困りますけど。その部分を主に担当するのが管理運営部門と広報（部内は会報委員会、部外は広報委員会）だと思います。

そうです、クラブ管理運営委員会は五つの担当委員会の連携だけでなく、クラブの全ての委員会との連携協力が不可欠なのです。大変そうですが、要は気配り目配りが大切という事でしょう。私自身不得手なところですが頑張っていきたいと思います。なお、戦略計画委員会については今日は割愛させていただきます。

創造的奉仕プロジェクト部門別協議会 ”社会奉仕委員会について”

次期社会奉仕委員長 片岡啓一
事例紹介1 『ドラゴンボート大会』
日田中央RC



事例紹介2 『津久見市内の全小中学生に防犯ブザーを贈る』津久見RC

地区補助金の申請状況の説明があり、社会奉仕活動において、是非地区補助金を利用して事業を進めるようにとのお話がありました。

しかし、そのための申請は2～3月ごろが申請期限ということで、委員会構成と事業計画をそれまでにすませなければならず、人吉RCではこれをクリアするのはかなり困難だと感じました。

【ニコニコ箱委員会】 委員長 青木一幸

・人吉中央RC 地区大会実行委員長中尾弘様
大変遅くなりましたが、地区大会のお礼に来ました。人吉RCの皆様には地区大会お世話になりました。ありがとうございました。

・安達会員 長男が4月5日に大阪にて結婚式を挙げました。慣れない衣装で私は固まりましたが、長男が堂々としていましたので一安心です。

・武末会員 前例会無届け欠席して申し訳ありませんでした。

【R財団委員会】

・石蔵会員 宝塚歌劇が100周年を迎え、妹の轟悠も現役生徒の顔として頑張っています。これからも応援よろしくお願ひします。